

国臨協関信支部 学術委員会 Q&A 入力用紙

問い合わせ	
受付日	令和 3 年 11 月 4 日
質問者	施設名
	氏名
	mail
	☎
問い合わせ方法 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 ()	
質問領域	輸血
質問内容	
<p>血液製剤運搬時の保冷剤についてです。 現在、当園では血液製剤専門のクーラーボックスを使用しRBC製剤運搬時に冷蔵された柔らかい保冷剤をキムタオルで巻き直接製剤に触れないように入れていきます。(FFP製剤の使用はほとんどありません) 検査室から各病棟までの運搬時間は2分から3分程度です。原則、使用時に病棟の看護師が血液製剤を取りに来ます。</p> <p>質問 ①運搬時間、クーラーボックス使用等を考え保冷剤は入れた方がよいのでしょうか。 ②入れる場合、RBC製剤とFFP製剤では、保冷剤はどのようなものを使用した方がよいのでしょうか。(RBC製剤は冷蔵保存された保冷剤、FFP製剤は凍結保存された保冷剤など) お教えいただけると助かります。</p>	

回答内容		
対応日	令和 3 年 11 月 5 日	
対応者	施設名	国立がん研究センター中央病院
	氏名	竹内紗耶香
回答内容		
<p>保冷剤についてですが、当院も以前はRBCとFFPの搬送時に保冷剤を添付していました。RBCは冷蔵の保冷剤、FFPは融解前は凍った保冷剤、融解後はRBCに使用の冷蔵の保冷剤を添付し、アルミの保冷バッグで搬送していました。2019年4月に転勤してきたためいつから、どのような経緯で添付していたのかわかりませんが、2020年8月に保冷剤の添付は廃止し、アルミの保冷バッグのみでの搬送としました。</p> <p>保冷剤廃止の理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 払出し後すぐに使用が原則であり、保冷剤を使用した搬送による品質保証のエビデンスがない(輸血療法の実施に関する指針のIV.実施体制の在り方や、うしろの方の参考3を参照して下さい) ・ 保冷剤の温度管理や清潔管理(何分以上冷やしたら使用する、戻ってきたらアルコールで拭くなど)のルールが一切ない ・ 戻ってきた常温の保冷剤を血液製剤保冷库に入れることによる保冷库や製剤への影響度が不明 <p>以上について、検査科内で提案、輸血療法委員会へ提案・承認、看護部への周知を行って頂きました。当院の搬送は看護助手が大半なので、取りに来た際に最初はその都度説明しました。</p> <p>運搬がクーラーボックスで数分とのことですので、すぐに準備、投与であれば60分以内の開始は十分可能であり、製剤の品質にも影響はないと思われます。少しの待ち時間であれば保冷剤なしでクーラーボックス内で保管で問題ないと思います。(もちろん投与忘れは怖いですが…)</p> <p>少々長くなりましたが、参考にして頂ければ幸いです。</p>		

※ 対応後1週間以内に本ファイルを関信支部までメール送付してください。

※ 記載内容については、匿名化して関信支部ホームページに掲載する場合があります。

※ お問い合わせ、ファイルの送付は下記までお願いします。

【国臨協関信支部 学術】

kanshin@kanshinshibu.org

国臨協関信支部学術	
受領年月日	令和 3 年 11 月 9 日
受領者氏名	松林 秀弥

2019.6.17 国臨協関信支部